④　現金及び預金、⑤未収入金、並びに⑨未払金
短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっている。

⑥　国立大学財務・経営センター債務負担金、⑦長期借入金、並びに⑧リース債務
これらの時価については、元利金の合計額を新規に同様の借入、またはリース取引を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっている。

8．賃貸等不動産の時価等の開示
賃貸等不動産の総額に重要性がないため、記載を省略している。

9．資産除去債務
⑴　当該資産除去債務の概要
附属病院建物の解体時におけるアスベスト除去費用等につき資産除去債務を計上している。

⑵　当該資産除去債務の金額の算定方法
資産除去債務の見積りにあたり、取得時からの使用見込期間を６～50年と見積り、割引率は使用見込期間を勘案し、使用見込期間に見合う国債の流通利回りを採用しており、0.293～2.304％としている。

⑶　当事業年度末における当該資産除去債務の総額の増減
当事業年度における資産除去債務の残高の推移は次のとおりである。

期首残高	98,728千円
有形固定資産の取得に伴う増加額	0千円
時の経過による調整額	1,866千円
期末残高	100,595千円

10．退職給付に係る注記
⑴　採用している退職給付制度の概要
当法人は、職員の退職給付に充てるため、非積立型の退職一時金制度を採用している。当該制度では、給与と勤務期間に基づいた一時金を支給しており、簡便法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算している。

⑵　確定給付制度
①　簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

期首における退職給付引当金	107,772千円
退職給付費用	45,052千円
退職給付の支払額	18,652千円
期末における退職給付引当金	134,172千円

②　退職給付に関連する損益

簡便法で計算した退職給付費用	45,052千円

11．固定資産の減損
⑴　減損を認識した固定資産
①　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価格等の概要

（単位：千円）

用　途	種　類	場　所	減　損　額
診　療	建　物	医学部附属病院病院本館（三重県津市江戸橋２－174）	1,407,054
診　療	構築物	医学部附属病院病院本館（三重県津市江戸橋２－174）	29,057

②　減損の認識に至った経緯及び理由
新病院開院に伴い、固定資産の全部又は一部につき、使用しないという決定を行ったため。

③　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳

（単位：千円）

場　所	種　類	減損額	うち損益計算書に計上した額	うち損益計算書に計上していない額
医学部附属病院病院本館（三重県津市江戸橋２－174）	建　物	1,407,054	1,353,627	53,427
医学部附属病院病院本館（三重県津市江戸橋２－174）	構築物	29,057	24,826	4,231

④　回収可能サービス価額の算定方法
新病院開院に伴い、取り壊しが予定されているため、回収可能サービス価額は使用価値相当額（０円）を算定している。

国立大学法人滋賀大学平成27事業年度財務諸表に関する公告

国立大学法人法（平成15年法律第112号）第35条において準用する独立行政法人通則法（平成11年法律第103号）第38条第３項の規定に基づき、国立大学法人滋賀大学平成27事業年度財務諸表について次のとおり公告します。

平成28年10月７日

滋賀県彦根市馬場一丁目１番１号
国立大学法人滋賀大学
学長　位田　隆一

貸　借　対　照　表

（平成28年３月31日）

国立大学法人　滋賀大学　　（単位：千円）

資産の部		
Ⅰ　固定資産		
1　有形固定資産		
土地		13,181,418
建物	9,174,903	
減価償却累計額	－4,468,416	4,706,486
構築物	1,299,348	
減価償却累計額	－816,181	483,166
工具器具備品	1,121,549	
減価償却累計額	－737,479	384,070
図書		2,380,389
美術品・収蔵品		145,828
船舶	85,904	
減価償却累計額	－74,230	11,673